



令和5年6月30日 発行
東京都立しいの木特別支援学校
校長 濱渦 孝治
担当 鈴木 拓
電話 0436-66-2790

第3号
(学校便り)

たくさんの方に支えられて ～学校運営連絡協議会、外部専門員、地域連携を通して～

主幹教諭 大澤 弘幸

いつも本校の教育活動への御理解・御協力ありがとうございます。

保護者の皆様、提携施設の職員の皆様を始め、本校は様々な方々に支えられています。本号は、日頃より本校を支えてくださっています学校運営連絡協議会や外部専門員、今年度の地域連携について御紹介させていただきます。

1 学校運営連絡協議会について

学校運営連絡協議会とは、学校及び校長への支援体制を強化するため、学校運営に関して保護者や地域住民等の参画を求め、意見交換を行う場として設置しているものです。

今年度の学校運営連絡協議会は、大学教授、地域の関係諸機関の園長、副園長や理事長、地域小学校校長、地域自治会会長の外部委員7名、副校長をはじめとする内部委員5名で構成されています。今年度も「人権尊重の精神を教育の礎とし、児童・生徒が夢と高い志を育む学校」をテーマに、6月、11月、2月に3回会議を行い、学校経営に対する御助言をいただいたり、意見交換を行ったりしています。2月には学校運営連絡協議会で「学校長への提言」をまとめ、校長に提言を行い、次年度の学校経営計画に反映させていきます。

また、学校運営連絡協議会の外部委員の皆様には授業の見学をしていただき、授業に対しても御指導・御助言をいただいています。

第1回目は6月9日（金）に行われ、校長より学校経営報告、学校経営計画について、各学部主任より各学部の現状と課題を報告した後、各委員の立場から学校経営に対して、意見交換を行いました。

2 外部専門員について

今年度も、授業、児童・生徒の理解、畑の活用、ICT活用の促進、人材育成等に関する内容について、元特別支援学校校長・主幹教諭、大学教授、准教授、農業指導員、理学療法士、企業等の16名の専門家の方々がそれぞれ授業アドバイザーや心理アドバイザー等として来校していただき、教員の専門性の向上を図っております。

授業アドバイザー：主に授業作りや、具体的な指導方法の指導・助言をいただいています。また、主幹教諭や主任教諭は都立特別支援学校の元校長の外部専門員からOJT推進に向けた指導・助言など経験年数や職層に応じて指導・助言をいただいています。

心理アドバイザー：児童・生徒の学校生活アンケートの実施や、面談を通して、児童・生徒の心理状態の把握や、対応の仕方に対する指導・助言をいただいています。

ICTの専門家：ICT教材の作り方、アプリケーションの紹介だけではなく、ICT機器を活用した業務改善についても指導・助言をいただいています。

農業の専門家：本校が所有する畑の維持や農作物に関すること、種植え方法や収穫方法に対する指導・助言をいただいています。

理学療法士：整形相談では、年間3回、専門的な視点から児童・生徒の運動機能のアセスメントを実施していただいています。

3 地域連携について

本校は、長年に渡り、地域の椎の木台自治会と連携を図り、様々な学習活動を行ってまいりました。昨年度も本校の畑で収穫した農作物を椎の木台自治会と連携し、地域の方々に児童・生徒が直接お届けさせていただきました。今年度は引き続き、直接、御自宅にお届けする活動に加え、本校に来校していただき校内での配布活動も計画しています。また、児童・生徒と地域の方々と活動を一緒に行うなど直接交流を図っていくことも双方で計画しています。今年度も引き続き、地域に根付いた学校作りに努めてまいります。

7月の予定

1	土	国民安全の日(※)
2	日	
3	月	
4	火	整形相談 身体計測 (小学部)
5	水	身体計測 (中学部)
6	木	身体計測 (高等部女子)
7	金	身体計測 (高等部男子)
8	土	本人講座
9	日	
10	月	避難訓練 (洪水)
11	火	短縮授業日 (13:50 下校)
12	水	
13	木	
14	金	しいの木集会、安全指導日
15	土	
16	日	
17	月	海の日
18	火	
19	水	
20	木	1学期終業式、給食終
21	金	夏季休業日始
22	土	
23	日	
24	月	
25	火	
26	水	
27	木	
28	金	
29	土	
30	日	
31	月	

(※)「国民安全の日」(7月1日)は、一人一人が日常生活のあらゆる面において、施設や行動の安全について反省を加え、その安全確保に留意し、これを習慣化する気運を高め、安全を脅かす災害の発生を防止を図るため、昭和35年に閣議了解により創設されたものです。本校でも、校内の安全確認等を7月1日前後に実施します。

小学部

6月30日(金)に校外での食事や買い物学習を行いました。校外での活動に見通しをもち、安心して過ごせるように、生活単元学習では、動画や写真を使って日程や行先の確認を行いました。また、「バスごっこ遊び」を通して乗車することに交代で遊びながら取り組みました。子供たちは、バスの遊びが大好きで、やりたい気持ちが強くて、ニコニコしながら学習しています。

校内の買い物学習では、かごを持ってレジに行き、お金を支払い、商品を受け取る一連の動作が一人でできるようになってきました。

当日の様子は、7月号でお伝えいたします。(文責：山田 麻衣)



中学部

職業・家庭では、5月の「茶摘み」で摘採したお茶を飲みました。ティーバッグを入れたカップにゆっくりお湯を注ぎ、3分間蒸らすと、教室にお茶の良い香りが漂いました。生徒たちは、自分で淹れたお茶を「おいしい」と嬉しそうに飲んでいました。自分たちで摘んだお茶を飲むという貴重な経験となりました。

今後も生徒たちが体験したことが有意義な活動に繋がるように、工夫していきます。(文責：江口 太郎)



高等部

総合的な探究の時間に、畑のじゃが芋を収穫しました。農業指導員のアドバイスを受け、今年も大きく育ったじゃが芋をたくさん収穫することができました。収穫したじゃが芋は軽く乾燥させた後、袋詰めをしました。はかりで重さを計量する人、袋に入れる人、かごに運ぶ人、それぞれが役割を果たしながら活動に取り組みました。袋詰めしたじゃが芋の一部は、自治会を通じて地域の方々へ配布しました。自治会の皆さんも大変喜んでくださり、学校と地域の絆を深めることができました。(文責：古山 武)

